

着

mono 通信

yoroduya

2023・6 vol.57



原町本店
〒975-0003
南相馬市原町区栄町2-83
TEL:0244-24-2929

いわき店
〒970-8026
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F
TEL:0246-85-5298

みなさまこんにちは！先月の原町本店「改装閉店セール」ではたくさんのお客様にご来店いただき、心より感謝申し上げます。本当に賑やかな3日間となり、お客様にも大変喜んで頂けたのが何よりでした。また、新装オープンを楽しみにしているお声が多く、プレッシャーながらも大変励みになりました！ますます元氣いっぱい楽しい店づくりに精進してまいります！そして、セール中大変好評をいただいたのが、夏の定番「浴衣」です。コロナの影響で、浴衣市場も低迷の危機に陥り一時はどうなるのかと思いましたが、今年に入り、各メーカーさんが新作発表会を開催したことで久しぶりに浴衣の需要が戻ってまいりました。ショッピングセンターなどで簡単に手に入る浴衣も、コストを考えれば選ばれる方も多いかと思えます。しかし、やはり呉服屋としてはぜひともお話ししてほしいと考え、今年は浴衣の仕入を新規開拓いたしました。「大人の浴衣」をコンセプトに、女将が自ら一品一品厳選したものです。生地質感や、色柄など本当にどれもこれも素敵で悩みました。今ならまだギリギリ間に合います！数も少なくなってきましたが、お客様のお気に入りを見つけたいです。

＜原町本店改装工事 順調に進んでおります＞

原町本店の改装工事が着々と進んでおります。まずは外壁の塗装からスタートしました。これまでのオレンジ色から濃いめのグリーンに変わりました。内装工事は、壁、床、天井、照明などが大きく変わります。6月の新装オープンをお待ちください！

Before
→



After
→



写真左は4月20日に足場を組んだ直後の写真です。そして、写真右は塗装が完了した5月18日。ちょっとわかりづらいのですが、外壁がグリーンに変わり落ち着いた雰囲気になりました。入口の天井部分もグリーンに！毎日少しずつ染まっていく様子は大変ワクワクしました。私は高い所が苦手なのですが、お客様に早くお披露目したいです！！

予告！！

＜原町本店 新装オープンセール＞

新しくなった「よろづ屋」で新しい自分を再発見！着物が大好きな皆様楽しくつろげるサロンも同時オープンです。着物に関する情報発信の場として「よろづ屋」が生まれ変わります！！

＜オープン記念特典 その1＞
ご来場の方へ「紅白すあま」プレゼント
各日 先着20名様



＜オープン記念特典 その2＞
3,000円以上お買い上げのお客様へ
日本橋「丸久商店」の復刻手拭プレゼント



ぜひ皆様のご来場心からお待ちしております！！

※特典の配布はなくなり次第終了とさせていただきます

< にっぽんの色と文様～その6 水無月編～ >

日本の自然や文化から生まれた伝統の色や文様について一緒に学びましょう！

梅雨の季節ですが水無月！

梅雨のジメジメも
素敵な色柄で包ま
れたいですね。



濡葉色
ぬれはいろ

濡葉色(ぬれはいろ)
雨に濡れた葉のような瑞々しい緑色です。葉は雨に濡れることで深く鮮やかな色合いに変化します。似た色名には「濡羽色(ぬればいろ)」があります。雨が降り続く中でも、視点を変えて自然の美しさを見出す感性がとても素敵ですね。



百合文 ユリは、根の栄養価が非常に高く、立ちくらみや妊婦や出産後の栄養不足には百合根が役立つことから、延命長寿、安産祈願の願いを託すことができると言われています。また、西洋では聖母マリアの花として知られ、純潔や無垢の象徴にされています。

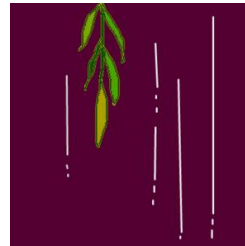
雪文 雪を題材に図案化したものです。日本には「雪月花」「月雪花」の言葉が知られ、雪は春のサクラ、秋の月と共に四季を表すものとして扱われます。雪を模様としたものには、雪待文と雪輪文がある。



赤紫(あかむらさき)
赤と紫の中間の不思議な色合いです。牡丹やツツジの花のような赤みの濃い紫色、または鮮やかな赤紫色を指します。奈良から平安時代にかけて、深紫の次に高位の衣服の色でした。優美で気品のあふれる色合いが長く愛されてきました。



赤紫
あかむらさき



雨文 文様として雨が衣装に描かれる時は、多くが斜めに降る様子です。樹木や流水などと共に用いられることが多く、組み合わせによって季節が表されています。楓とともに描かれるものは、時雨(しぐれ)文様とされ秋から冬にかけてのもの。藤や松との組み合わせは、春雨(はるさめ)文様となります。

<きもの語 辞典> いの巻

着物に関して、わからない言葉や知りたい言葉などたくさんあると思います。専門用語が飛び交う中で??に思うことも多々ありますよね。そんな着物にまつわる言葉を集めて簡単にご紹介していくコーナーです。

<衣桁(いこう)> 着物や帯をかける調度品。呉服店などにある鳥居のような衝立型と、家や和風旅館などで見かける二つ折りの屏風型のものがあります。

<伊勢型紙(いせかたがみ)> 三重県・伊勢の旧白子町で作られている型染に用いられる型紙で、1000年以上の歴史を持ち「伊勢型」とも略されます。柿渋で数枚を貼り合わせて和紙に、彫刻刀で細かい模様を彫り抜きます。江戸小紋を染める型紙として発展しました。当時、武士たちが盛んに袴の柄を競ったため、型紙もより細かく高度な技が求められてきました。その技は現在も伊勢の職人に受け継がれ、国の無形文化財に指定されています。

<糸目糊(いとめのり)> 友禅染めの彩色で色移りを防ぐために用いる防染糊。糊筒(菓子作りで使うホイップの絞り口のようなもの)に入れ、絞り出しながら模様の輪郭を防染します。糊の細かい線が糸のように見えることからこの名称になりました。糊は餅米と糖が原料の糊と、ゴム糊の2タイプがあります。



今月のおすすめ！

<麻 半巾帯>

23,800円(税込)～

26,800円(税込)

今月のおすすめ商品は、麻の半巾帯です。夏の浴衣のコーディネートをちょっとおしゃれにワンランクアップさせてみませんか？浴衣の帯といえば色とりどりの華やかなものが多いのですが、何となく大人の私たちには赤や黄色は眩しすぎませんか？そこで、グッと色を抑えて、でも素材は上質な麻の半巾帯で、カジュアルな浴衣コーデを大人の浴衣コーデに変身させてみましょう。落ち着いた色合いの帯は、帯締めや浴衣の飾り紐などで、アクセントカラーを差し色で入れて楽しめる優れもの。涼し気な麻の半巾帯は浴衣以外でも、夏のカジュアル着物に大活躍すること間違いなしです！お太鼓するのも暑くてしんどいな夏は、半巾帯でスッキリさせてみましょう。夏の着物も楽しくなるはずですよ。今年の入荷分は残りわずかとなっておりますので、気になった方はお早めに！！

…若女将のつづやき…

안녕하세요(アニョハセヨ) 항상(ハンサン) 감사합니다(カムサハムニダ)

「こんにちは、いつもありがとうございます」

もう突然ハングルですみません。私は、何でも興味のある事はとりあえずやってみるのですが、今回は「ハングル語」です(笑)コロナ禍で韓流ドラマにはまってからというもの、どんなに忙しくとも一日の終わりにドラマを観て楽しんでおります。いつも字幕で観ているので、耳に入ってくるハングル語に興味湧き、さらにハングル文字の合理的なところにも関心を持ちました。そこで、スマートフォンの語学勉強アプリ「Duolingo(デュオリンゴ)」を見つけ、ゲーム感覚で毎日毎日やっていたら1年が過ぎ、なんと連続390日を記録いたしました。ペラペラにはなってませんが(笑)

2128

4474

390
日連続!

日 月 火 水 木 金 土
● ● ● ● ● ● ●
毎日レッスンして連続記録を樹立しよう